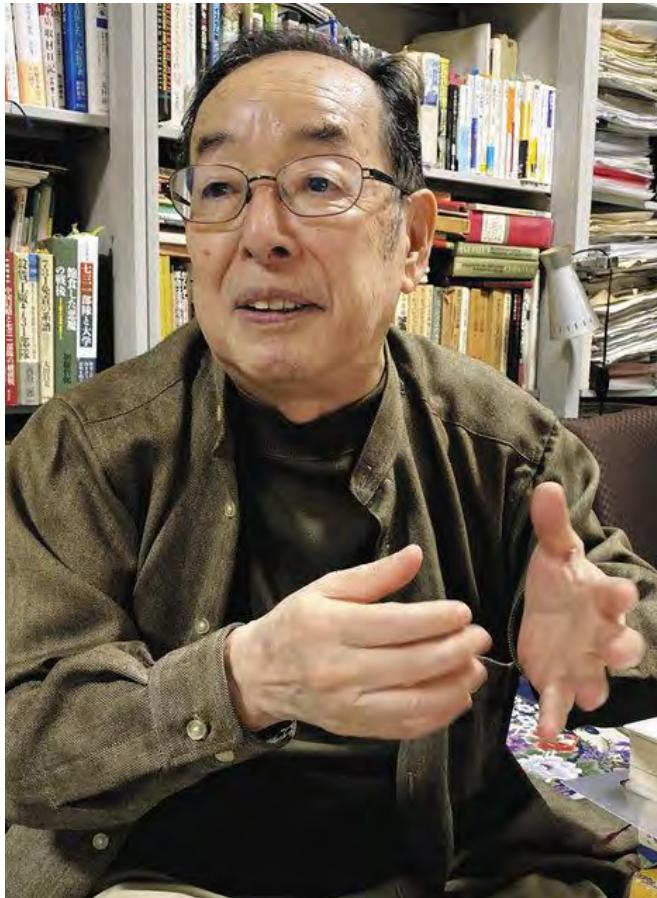


新型コロナ 東京 首都圏 社会 政治 経済 国際 スポーツ ライフ 文化・芸能 社説・コラム イベント

今

<土曜訪問>プーチン氏の原点は ゾルゲ研究からウクライナ侵攻探る 加藤哲郎さん（一橋大名誉教授）

2023年6月3日 13時15分



戦中に日本の政治や軍事上の機密が旧ソ連にもれたゾルゲ事件。一橋大名誉教授の加藤哲郎さん（76）は本業の政治学研究のかたわら、国内外の公文書館の史料などから真相に迫ろうとしている。昨年は研究会を立ち上げた。今、事件に向き合う意義はどこにあるのか。情報戦に関わる資料が並ぶ東京・国分寺の書斎を訪ねた。

👑 ニュースランキング | もっと見る →

3日間 1週間 1ヶ月

- マイナ保険証「混乱が起こる」歯科医師が経験したトラブルの実態 「とても実用に耐えるものではない」
社会



- マイナ保険証の資格確認はNTTの光回線で独占状態…反発されても政府が推進をやめないことと関係は？
こちら特報部



- 神社の境内にマンション計画？住民「寝耳に水」と見直し求め署名活動 「しながわ百景」の小山八幡神社
品川区



「ロシアのウクライナ侵攻は、ゾルゲ事件とつながっていると見ることもできるのでは」。加藤さんの話は、意表を突く指摘から始まった。

事件の中心人物はドイツの新聞記者リヒャルト・ゾルゲ（一八九五～一九四四年）。在日ドイツ大使館を拠点に日本の軍事戦略などの秘密情報を集め、旧ソ連に通報。一九四一年に摘発され、三年後に日本で死刑に処された。

この事件がウクライナ侵攻に関わる可能性が垣間見えるのは、プーチン大統領が二〇二〇年十月にタス通信に応じたインタビューから。「高校生のころゾルゲのようなスパイになりたかった」と、ソ連時代に秘密警察の国家保安委員会（KGB）に勤めた原点を明かしたのだ。

ソ連は戦中からゾルゲが二重スパイだったのではと疑っていたが、プーチン氏が十二歳だった一九六四年に、日独と戦った「大祖国戦争」の英雄として名誉を回復。俳優の岸恵子さんが発案、出演し、当時の夫イブ・シャンピ監督が撮った映画「スパイ・ゾルゲ 真珠湾前夜」（六一年）がソ連でも上映されてヒットし、再評価が進んだ。

ゾルゲの名誉回復を、加藤さんは「キューバ危機（六二年）を受け、米国との情報戦の重要性を周知する狙いがあった」と推測。ゾルゲへの敬意を語ったプーチン氏についても「ウクライナとの戦争と、大祖国戦争を二重写しにしている」と想像を巡らせる。

加藤さんは、本業の政治学分野では、マルクス主義国家論などを研究してきた。一方で「国際歴史探偵」を自ら任じ、ロシアの国立社会政治史文書館や米国立公文書館で見つけた新史料などから戦中・戦後の「裏面史」を探究。戦前にソ連に渡り、スパイの疑いで処刑された日本人や、戦時に中国で人体実験を重ねた旧日本軍の七三一部隊の隊員について戦後の足跡を、書籍で紹介している。

ゾルゲ事件も、そうした関心事の一つだ。二十年ほど前から研究を本格化。「学生運動に加わった経験」が原点にあるという。故郷の盛岡市から進学した東京大で活動。自身を大きな歴史の激動に流される「一個の駒」だったと振り返る。「ゾルゲもかつての自分と同じ、歴史にもてあそばれた存在だったのでは」

ゾルゲは第一次世界大戦にドイツ兵として出征し負傷。兄二人も戦死した。スパイ活動に身を投じた動機は、「ソ連への愛国心からではなかった」と加藤さん。戦意をあおる「精神主義」に憤り、国境を超えた人々の連帯に未来を見いだしたと見る。結局、ソ連からも「不要な駒」として捨てられた悲運のスパイに、「研究を通じてレクイエム（鎮魂歌）をささげたい」。

昨年十一月、他の専門家らと「尾崎＝ゾルゲ研究会」を設立した。ゾルゲの協力者として処刑された評論家の尾崎秀実（一九〇一～四四年）も対象に、事件の解明に本腰を入れる。ゾルゲがソ連に送った電報など六百五十点を収めた史料集が二〇一八年にロシアで刊行され、「研究は新たな段階に入った」と判断した。

例えば、ソ連がシベリアの戦力を独ソ戦に投入し、戦局で優位に立った背景について。戦力の移動は、ゾルゲの情報を基に判断したという説が有名だが、新史料からは確認できなかつた。「ゾルゲの成果は、過大に評価されてきたのでは」

東海道線の列車が武藏小杉に行ってしまった理由は…直前の列

4 車通達を検知できず、分岐が切り替わらなかった

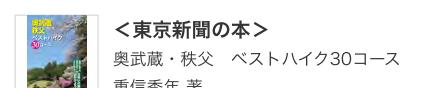
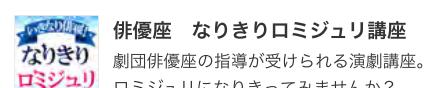
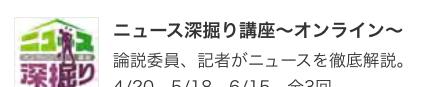
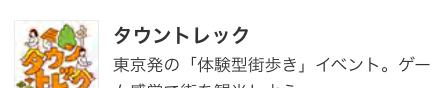
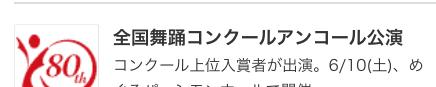
社会



マイナ保険証、事実上のカード

5 義務化 トラブル相次ぐ中、改正関連法が成立

社会



ロシアでは最近、ゾルゲの名を冠した公園や駅ができるなど、ゾルゲを褒めたたえる動きが盛んだ。「事件の研究を通じて今、何が起きているのかを理解することができる」と加藤さん。特定の政治上の思惑による物語や俗説を批判しつつ「等身大のゾルゲ像を追究していきたい」と、力を込めた。（林啓太）



<東京新聞の本>

百均・アイドル・焼き芋屋 江戸の発明 現代の常識 続・江戸のヒット仕掛け人 檜山良昭 著



<東京新聞の本>

民主主義のミカタ 宇野重規×岸本聰子 東大教授 宇野重規／杉並区長 岸本聰子



<東京新聞の本>

かんたんBEST スロトレ＆ストレッチ 東京大学名誉教授 理学博士 石井直方 著

関連キーワード

土曜訪問



あわせて読みたい



切り替える力、挑戦を美化しない、親の役目… 「戦う哲学者」村田諒…



〈変わる乳児院・前編〉 産後うつの私を救ったのは乳児院 一人で頑張…



子どもは親をよく見ている 息子に登山に誘われて 〈清水健さんの子育…



骨抜きになっていない？ 「骨太の方針」 財源不明の防衛費増額と少子…
(2023年06月03日)



「欧米は悪」というブーチン氏 娘2人や恋人は欧米で優雅な生活 資…
(2022年04月30日)



成績トップだった中国人留学生は、母国からの“依頼”を断れず「ス…
(2022年07月02日)



44歳以下の場合は、このゲームはプレイしないでください。
(AD)RAID: Shadow Legends



恐怖！「世界の最も危険な空港10選」
(AD)NewSphere

関連記事ピックアップ

16歳、生きるために体を売った…親から虐待、施設でさんざんいじめられました！
(2023年05月21日)

俳優 滝藤賢一さん 家族6人 2LDKで暮らしています！

須藤理恵さん死去 お笑いコンビ「青空」の漫才師
(2023年05月27日)

PTA退会で「不利益の承諾書」行事は参加不可、贈呈品は個別払い…保…

PRイチオシ情報



都電サポートーズ紹介ページ開設

サポートーズの取り組みをはじめとして様々な角度から、魅力を発信します！



はじめての新聞ちぎり絵体験会

東京新聞140周年記念イベント
6/25・29開催 参加者募集中



いまこそ振り返りたい昭和の記憶

昭和30～40年代の懐かしくほっこりできる写真館



360度カメラで老後の住まい見学

まずは気軽にWEB見学から。施設内を自由に見て暮らしをイメージ



シャンシャンが家にくる日

動物園にいけなくても 紙面をつなぎ合わせると…



大学、どう決める？

のびのびと、じっくりと。新たな大学との出会いはこちから



こどもブックワールド

新しい絵本との出会いはここから。絵本のプレゼントもあります



東京メッセージボード T-Voice!

T-Voice!がリニューアル！ あなたの想いが新聞紙面に。



豆！豆！料理コンテスト

オリジナルの豆料理を募集！ 調理方法は自由！【締切7月9日】



東京新聞 映画試写会

気になるあの映画を一足早く。ご応募はこちから

おすすめ情報

広告 シニアの暮らしのお手伝い 「まごころサポート」のご紹介はこちら！

広告 下町のカフェから話題のスポットまで 都内がたのしい！ 東京都電さん

土曜訪問の新着

記事一覧 →